



一般社団法人 錦鯉水槽飼育普及協会

SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2024年 4月 1日
一般社団法人 錦鯉水槽飼育普及協会 代表理事 星 智也

環境

<具体的な取組内容>

- 選別に漏れ、通常廃棄される錦鯉であっても水槽飼育に適した生体を「SAKURAKOI」ブランドとして新たな価値を創造し、その多面的な美しさを伝えるとともに、廃棄数削減を追求していく
- 生態系破壊や、土壌・水質汚染発生防止に貢献し、地域の生物多様性の維持、改善にも努めていく

<関連のあるゴール>



内部管理体制

<具体的な取組内容>

- 本協会の会員及び協力団体等に関わる取扱い個人情報の管理を徹底し、加えて法令順守に努めることによって、内部管理体制強化を図っていく
- 日本観賞魚振興事業協同組合の一員として、本協会の役職員及び会員にも環境保全に関するコンプライアンスを周知徹底していく

<関連のあるゴール>



製品・サービス

<具体的な取組内容>

- 適正なケアにより、病気や感染症リスクを軽減し、生体に負担をかけない飼育方法の研究を重ね、質の高い商品とサービスを提供していく
- 誰もが居住環境を問わず、錦鯉の飼育・鑑賞が可能になる飼育スタイルを提供し、アクアリウムセラピーの啓蒙活動を実施していく

<関連のあるゴール>



<具体的な取組内容>

- 錦鯉に関するイベント等を通じ、飼育体験・経験を提供することで、錦鯉文化を世界と後世への普及に努め、新潟県のみならず日本全国の養鯉業界の発展と「国魚」である錦鯉の伝統産業継続に貢献していく
- 生物愛護、生態系の破壊防止に関わる活動を継続し、住みやすく自然と調和する社会づくりに寄与していく

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。